

新春



「今年は果樹栽培百年」

松川町のりんごで白い雪のキャンパスに “未” を描いてみました

館報 まつかわ

平成27年 元旦  
松川町公民館報 第615号

# チャレンジ!!



## 坪田晶久さん・朋美さん (鶴部)

### 新規就農に向けて研修中

**Q** 農業を始めたきっかけは？

**A** 東日本大震災直後、食品の小売店では品切れの状態が続き、お金があるのに買えない状態でした。この時、自給自足の大切さや産地が力を発揮することを知り農業をやろうと決意しました。現在は、町内の農園で研修中。

**Q** なぜ松川町へ？

**A** 冬期間に降雪が少なく比較的温暖な気候は、都市部から移住するには過ごしやすいうえに、関東圏や中京圏に近い。  
また、後継者不足解消にも貢献したい。

**Q** 松川町の印象は？

**A** 周りのみなさんが親身になってくれる。  
リニアも通るし、果樹を中心に地域が活性化するといいと思います。

住みやすいところだと感じています。

早く慣れて地域になじめればと思います。

**Q** 最後に一言

**A** 新規就農のハードルは非常に高いと感じているが、周りのみなさんの協力もあって前進していると実感しています。期待に応えられるように、また最初のことをゆるぎないものとしていきたいです。

地域の方々の協力やここへ送り出してくれた家族に感謝しながら、これからも過ごしたいです。



## 田中 育さん (部奈2)

### 部奈で新規就農

**Q** 農業を始めたきっかけは？

**A** 屋外で何かをするのが好きで、趣味も自転車レースや徒歩での旅行です。以前は自動車部品関係の工場に勤めていたが、屋外でできる仕事がしたいと思っていました。そんな時に農業と出会いました。

また工場では、製品が完成するまでの一つの行程しか担当しませんが、農業は最初からお客さんの反応まですべてを知ることができることも魅力です。

**Q** なぜ松川町へ？

**A** 以前は愛知県に住んでいたが、その時に部奈の出身者と出会い部奈を知りました。いろいろ迷って、部奈の景色がとても気に入りこの場所に決めました。

**Q** 松川町の印象は？

**A** 人が優しい  
便利過ぎず不便過ぎないところが好き

**Q** 最後に一言

**A** 部奈(竜東)でおいしい果物を作りたいです。同じ松川でも、東西で雰囲気の違いがあるのではないかと思います。



# 果樹栽培一世紀を迎え 未来に向かって

## JAあぐりスクール こども農場

昨年1年間、野菜などの作物の植えつけから収穫まで農業体験をした子どもたちです。



北小6年 湯澤杏子さん・米村心穏さん



北小5年 宮下希帆さん・3年松下優花さん



中央小5年 鈴木 雅人さん

## 若武者

町内で農業を営む若者の集まりです。



## あい菜果

農家のみなさんが心を込めて作られた農作物を販売されています。



「百匠一品」さまざまな技をもった人たちがつくる逸品

～デュオ・アンダンテ・ミュージックベルコンサート～

# ベルの音色に歌声のせて

まつかわ大学第3講座 平成26年12月6日

皆さん、ミュージックベルをご存知でしょうか？今回のまつかわ大学はミュージックベルの演奏…と聞き私が想像したのは？

横に並んだ10人位の人が、それぞれ両手に1つずつベルを持って音階に合わせて自分のパートを鳴らす、というもので。でも…違ったのです。

そもそも私が思ったのは、ハンドベル。今回の主役はミュージックベルなんですから。

まず、ハンドベルはイギリス発祥でとても高価なんだそう。そこで、子どもから高齢者までが手に取って演奏できるようにと、国内の楽器メーカーが開発したのがミュージックベル。

ライトの光をあびて光り輝くミュージックベルがテーブルの上に20〜30個くらい並ぶ



用意されたミュージックベル

なか「デュオ・アンダンテ」として活躍されている佐藤純子・上野深雪姉妹の登場です。



上…姉の佐藤純子さん  
下…妹の上野深雪さん

全体進行は姉の純子さん。

純子さんがお話をされているあいだ、アレンジ担当の妹の深雪さんは、ベルの位置確認に集中。少しでも位置がズレるとベルをつかめないそうで…計算された細かな動きが要求されるようです。

さあ、演奏が始まります。30個くらいのベルを二人で（手は4本）あやつつてメロディーをつけるのですが、次から次と持ちかえながら見事



時には片手で2個持つことも



に完璧。ただ持つだけではなく、持ったら振らなければ音は出ないわけで、その一瞬の作業をくり返しながら美しい旋律を紡ぎだす…もう、拍手。

2、3曲の演奏のあとは、少し息があがったようすのお二人。そう、写真でおわかりのように腕の力が大きく必要になります。見ているだけの私でも二の腕のあたりが何となく痛くなりそうでした。

多くのミュージックベルコンテストで優勝しておられる二人。この頃は、ベルだけで



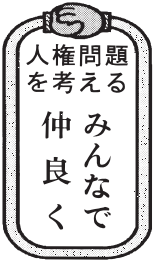
なく歌いながらの演奏活動もされているそうで、参加者の皆さんも一緒に楽しめるメニユーを用意してくれました。わりと平均年齢が高めの参加者も歌える曲を、大きな声を出して大合唱。そこに澄きとおるベルの音がかさなって大満足でした。

2002年に活動を始め、今では日本最高のミュージックベル奏者となられたお二人も、始めは腕や腰の痛みに悩まされたそうです。でも、笑顔のうらの大変な練習があつてこそ、今のお二人の輝く宝石のようなベルの音色を耳にすることができるとのこと。

プロのお二人のような演奏は無理としても、ちよつと鳴らしてみたいな、と思われた皆さん。ミュージックベルは学校などの施設に置かれていることも多いとか。近いうちにインスタントなミュージックベル奏者が誕生するかも??



みなさん楽しく大合唱



話せば分かるのに

東小6年 加賀田 穂

人権を尊重するということは、相手を知って理解しようとする心がけのことだと思えます。それは、言葉の通じない相手に対しても言えることです。

交流授業に行った時、ALTの先生の授業がありました。アメリカから来た先生は、日本語があまり得意ではありません。だからでしょう。授業中クラスがザワザワとしました。先生はその時、とても悲しそうな顔をしていて、私もその先生の顔の表情を見ていたら悲しい気持ちになりました。 どうして一生けん命授業して下さっているのにザワザワとしているのでしょうか。きっと、その人達は先生のことをよく知らないからなのでしょう。それに、自分が先生と同じ立場だったら...ということも、考えてみてほしいと思いました。

もし、その人達が先生ともっと話したり、遊んだりして仲良くなれば、お互いの良いところなどを知ることができ、相手を大事に思う気持ちも生まれると思います。そして、常に相手の立場に立って考えることも大切だと思います。それが、相手のことを知って理解しようとする心がけであり、人権

の尊重はここから始まるのだと思います。

人権講演会 福澤さやさんの

お話を聞いて感じたこと

東小6年 松下 陽佳

今日、人権講演会がありました。さやさんという人がお話しをしてくださって、つえをついて歩いてる25歳の人だけど学習室に行ったらさやさんが、ギターの準備をしていたので「ギターがひけるなんてすごい。」と、とてもびっくりしました。お話の間に歌を歌ってくれたりしました。歌もギターも上手でいいなと思いました。私が「いい歌だなー」と思ったのは「ありがとう」と「ありのまま」です。聞いていると心がポカポカした感じになって、「CDほしいなー。」と思いました。「何回も聞きたいなー。」とも思いました。さやさんの夢は大きなホールで歌う事みたいだけど「これだけいい歌だったら絶対に出来るな。」と思いました。「人は見かけで判断しない。」とよく聞きます。さやさんは足が不自由で初めは「かわいそうだな。」と思っただけで、そんなことを思わせなくらいに元気で明るくてとびきりの笑顔で素敵な歌を歌ってくれて、私の方がさやさんからたくさんパワーをもらいました。私も自分自身を大切に、そして人として全ての人も大切に思っしていきたいと感じました。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

（その三十九）

正月飾りと年越しそば

年の瀬が近付くと、様々な伝統的行事があります。そこで、青年の家では12月27日に松川プログラムとして「正月飾りと年越しそば」という講座を実施しました。その中から正月飾り作りの模様を紹介します。なお、当日の講師は長谷部次長が務めました。

おやす作り

はじめに、下伊那地方の正月飾りには欠かすことのできない「おやす」を作りました。あらかじめ湿して柔らかくなつたわらを使って編んでいくのですが、今までにやったことがあったのか、子どもたちは短時間で作り上げました。最後にくるりと巻いてその中に松の小枝を入れて完成しました。

しめ縄作り

次は、柔らかくなったわらを使ってのしめ縄作りです。参加されたほとんどの方は、



しめ縄作り

わらを使って縄を編つたことがなかったのだから、たいぶ抵抗があったようです。4・5本ずつのわらを右手と左手に持ち、それを捻っていけばいいように見えるのですが、実はわらを手のひらで転がしながら捻っていくことが大事なのです。この要領がなかなかつかめずに苦労していました。難しいのはそれだけではありませんが、普通に使う縄は右手を前に出して捻る（右廻り）方法でよいのですが、神様の関係で使う縄は、左手を前に出しながら捻っていかなければなりません（左廻り）。右利きの方は力が入らなかつたり、ぎこちなかつたりしてなかなか苦勞します。それでも少し慣れてくると手の動きもよくなりました。縄がだんだん長くなってきました。1.5mぐらいの縄をさきみで切り落として整えます。

**前号の記事についての補足とお詫び**  
前号の「森キャンプ秋一」の記事の中で、片桐ダムで生息数調査のために採捕したウチダザリガニを調理して食べたことを報告しましたが、これは調査を目的として実施したものです。禁漁区になっている片桐ダムで調査等により魚介類を採捕するには県および漁業協同組合の特別採捕許可が必要であり、一般の方は採捕できないことを補足いたします。また、今回漁業協同組合等関係機関に大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

す。最後に和紙を切つて作った幣束を挟み込んでりっぱなしめ縄飾りが完成しました。丸太を輪切りにした板に穴をあけ、松や竹の小枝や赤いナンテンを差してミニチュア門松を作つて楽しんでいた子どもたちもいました。参加された皆さん、きつと良いお正月を迎えられたことでしょう。

# 爆弾低気圧襲来!! スポーツで寒さを吹き飛ばせ!!

## 第27回松川町 ダブルスバドミントン大会

12月14日(日)に町民体育館にて、松川町ダブルスバドミントン大会が行われました。結果は次のとおり。

### 〈男子 がんばるブロック〉

- 第1位 矢島 聖也・小原 慶祐 (福与B C)
- 第2位 下嶋 昭美・桃澤 佳吾 (福与B C)
- 第3位 今井 和芳・広沢 年彦 (福与B C)

### 〈女子 がんばるブロック〉

- 第1位 松下 佳世・吉川 佳那 (福与B C)
- 第2位 中塚真理子・奥村 香 (福与B C)
- 第3位 松上 霞・宮澤 真帆 (福与B C)

### 〈女子 たのしむブロック〉

- 第1位 中川オルガ・武松 京子 (上片桐B C)
- 第2位 山岸佐貴子・林 美奈子 (上片桐B C)
- 第3位 湯澤 美雪・湯澤花菜子 (ジュニアB C)

## 平成26年度MTV杯 9人制バレーボール大会

12月21日(日)に中学校体育館にて、MTV杯9人制バレーボール大会が行われました。結果は次のとおり。

## 少年少女松川町 剣道大会

12月21日(日)に町民体育館にて、少年少女松川町剣道大会が行われました。結果は次のとおり。

- 1・2年の部
  - 優勝 松澤 伸弥
  - 準優勝 水野 駿介
  - 第3位 長砂 良芽
- 3・4年の部
  - 優勝 平島 弥佳
  - 準優勝 水野 至應
  - 第3位 大場彩々音
- 5・6年の部
  - 優勝 荒川 想太
  - 準優勝 平島 颯人
  - 第3位 水野 佐映

## 子ども縄跳び大会をひらきます

日時：2月22日(日) 9:30 ~ 11:30  
 会場：松川北小学校体育館  
 種目：時間跳び(全員) 種目跳び(希望者)  
 参加費：1人200円(縄跳びロープ1本持ち帰り。傷害保険料、賞状・記念品、連絡費)  
 ※希望者は、2月15日(日)に行う本番前の練習会にも参加できます。  
 申込締切：2月18日(水)  
 主催：少年少女体操・スポーツ総合クラブ  
 お申込み・お問合せ先：電話・FAX 36-5728 川又一郎

## まつかわ大学 第9期 第4講座

### 篠原菊紀 講演会

### “脳を鍛える活脳トレーニング”

テレビ・ラジオ等で活躍されている「はげひげ先生」こと篠原菊紀先生がまつかわ大学にやってきます！子どもから大人まで役に立つ脳トレを伝授！

日時：2月7日(土) 開場12:50 開演13:30

※13:00から、松川吹奏楽団による

演奏があります。

場所：町民体育館 トレーニングルーム

料金：一般500円、登録生・学生(高校生以下)無料

※一般の方は、事前申し込みが必要です。

お申込み先：中央公民館 電話 36-2622

## 毎月第3日曜日は

## 家族ふれあう

# 「家庭の日」

### 公民館で結び、若者と地域をつなげる

～今どき若者は…～

#### 第52回松川町公民館研究集会

日 時：平成27年2月22日(日)

午後1時から

場 所：松川町民体育館・中央公民館

松川町公民館研究集会は、昭和38年に第1回目が開催され、今年度で第52回目となります。

今回は昨年のテーマを引き継ぎ、若者と地域との関わりについて協議します。把握した現状や課題を踏まえ、若者は今どんな考えを持ち、どんな未来を思い描いているのかを知る機会にしたいと考えています。

#### ○事例発表

- ・ 地元高校生と吹奏楽団体との関わり  
(コミュニティーコンサートinまつかわより)
- ・ 松川中学校生徒と地域の関わり  
(チャレンジショップより)
- ・ 松川高校生徒と地域の関わり  
(地域デザインプロジェクトより)
- ・ 今どき若者は…  
(中学3年生以上の若者に対するアンケート結果より)

#### ○ワールドカフェ (小規模グループによる意見交換)

公民館関係者だけでなくどなたでもご参加いただけますので、是非ご参加ください。

お申込み・お問合せ先  
松川町中央公民館 電話36-2622



平成26年秋の叙勲で、中の村の北林皎さんが旭日双光章を授章されました。7期28年にわたって松川町議会議員を務められた功績に対しての授章でした。



### 旭日双光章を授章

北林 皎さん(中の村)

増設について行政に働きかけを行いました。現在では、町内約1300カ所に設置されています。他にも今では高校生まで拡大されている医療費無料化の導入、金利が高かった頃の起債の借換えや繰上償還についても働きかけられました。今では当たり前のように行われている制度の突破口を開き、福祉の充実や財政の健全化にも貢献されました。また長く議員を続けることができたのは、仲間にも恵まれたことが大きかったそうで、北

林さんは、議員同士が協力し一丸となってこそこの結果であると語られました。そして現在の町政について、「人の入れ替わりによって町の歴史を知る人が少なくなっている。町が発展するためには新しい取り組みも大切だが、歴史を踏まえることも必要ではないか。」とも語られました。議員を辞められた後、今でも社会問題や、地域の歴史調査などにも携わられているそうです。「歴史などを調べだすと面白くてやめられない。」と控えめな笑顔で話されました。益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

### ほくの家族

中央小6年 大場康平  
ほくの家族は七人  
みんなで果物を作っている  
冬のせんだい

春の花つみ  
夏のつ果に秋の収穫  
一年中

一生けん命働いている  
おいしい果物を  
作るのは大変だ  
ほくら子とほも

そして愛犬の「ロロ」

今日もりんこの木の下で  
うれしそうに

しっぽをふいている  
これがほくの

自まんの家族だ

### 遊ぶ

中央小6年 荒川想太

だれでも遊ぶ

ミミズも

へじも

ワニもみんな遊ぶ

人間だって遊ぶ

休み時間は

みんな遊ぶ

だけど

一人ぼつちの人もいる

そんな人に

声をかけよう

みんな遊ぶ

もつと楽しいはずだ

### 短歌

堀木 暁子(諏訪形)

新しき靴履き出勤する夫は  
七十四歳足取り軽く

水槽を泳ぎいる烏賊を指名して  
その透き通る体を食べめり

週三回吾にも出来る筋トレに  
通う楽しみ体調も良く

血液の検査結果を待つ間  
短歌作らんと指を折りいる

赤や黄のカラフル落葉拾い来て  
早る心で絵手紙を描く

### 川柳

中島 保子(宮坂)

熱い灰次は冷めたい雪の中

災害時オール電化も良し悪し

雲ゆきがあやしくなつてコタツ番

師走来てお金までもが走り出し

年賀状喪中葉書が数減らし

# 声

## 上新井地区公民館地育力向上講座 そば打ちとおやす作り



できたぞ！おやす

中央小3年 宇治田 すす

12月14日に、新井の公民館でそば打ちとおやす作りをしました。

まず、おやすを作りました。おやすは、お正月のかざりです。使ったのは、わらです。あむ時たいへんだったけど、2本作れてよかったです。

次におそばを作りました。こねる時やわらかくて気持ち



### 視点

#### まちの石仏 ③⑦ 「千手観音」(東浦)



石造としては数少ない千手観音像。千の手と千の慈眼で人々を救うといわれている。



一点集中！

良かったです。2回目よかったです。その後、切る所を見ました。すごく細く切るので、こわくないのかなあと思いました。

それから、食べる用意をしました。つゆをくばってもらいました。ゆげが出ていてあつそうでした。そばがゆであつたので、もってもらいました。ちよつと太いのもあつたけどおいしかったです。つゆも具が入っていておいしかったです。

また、来年もそば打ちとおやす作りをしたいです。

中央小5年 池田 望未

わたしは、今日楽しかったことが2つあります。

1つ目は、おやすを作ったことです。おやすを作るのは初めてで、最初はわらをあむのが大変で1つ作るのに長い



みんなで伸ばす

時間がかかってしまったけれど、2つ目からは、とても早くあめるようになりました。いつかあみ終わってからはなわにもちようせんしてみました。でもたねじれているだけのなわになってしまい、すぐほけてしまいました。おやす作りはむずかしいなと思いました。

2つ目は、そば打ちをしたことです。わたしは、あんなにさらさらとしていた粉が、水を入れただけでとても固くなってしまったので、びっくりしました。そばを切る時は、1回目は太いめんになってしまったけれど、2回目からは1ミリぐらいに細く切ることが出来ました。その後、ゆでためんを食べてみるととてもおいしかったです。2回目もおいしかったです。

とてもいい経験になったので来年も行きたいです。

### 2022年

昨年未、世の中が慌ただしく、毎日仕事をしていると「本当に年越しなのか？」と感じていました。いざ正月を迎えると、新しい気持ちで芽生えてきます。ただ私の中で一番年末年始を実感できた事が、正月のテレビ番組だったので静かに新年を迎えてしまい、あつと言う間の正月でした。

その昨年のテレビ番組の中で、年賀状の書き方や常識なる事をやっていた、「賀正」は丁寧な言葉ではないので会社の上司には使ってはNGや、自分の話題や決意を先に書くのはNG、郵便番号があっても都道府県から宛名を書くなど、見よう見真似でしてきた事にも奥深い物を感じます。今は調べれば何でも解ってしまう時代なので、こだわり出したらきりが無いですが、それも個性、個人主張ができる時代なんですね。

何だか今年も、やりたい事ができなくて、バタバタしそうです。一日一日が早く感じてしまいい、無駄に過ごしているのかもしれないと思ってしまう。毎日、今日という一日は大切なんだと思つて、時間を大切にしたいと思えます。

松下佳史

公民館報

「まつかわ」

第 615 号

平成27年 1月15日

発行所 松川町公民館

責任者 矢澤 登

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。